

発行日： 2021年 11月 5日

発行：NO. 7

横須賀線地下トンネル 立坑出口の実踏行動を行う！！



11月4日（11月5日—津波防災の日）、東京電車区分会として、新橋～品川駅間の横須賀線地下トンネル立坑出口（3箇所）の実踏行動を取り組みました。

実際のトンネルの地上を実踏すると、山手線からは離れたところを横須賀線は地中を走行しており、イメージと実際のルートは全く異なり、実際に歩いて確かめることで、周りの地理や最寄り駅など、把握することができました。

火災を想定したつくられた立坑避難路ですが、想定されている首都直下型巨大地震が発災すると、架線停電やトンネル内に流入する地下水の排水ポンプの停電などにより、間違いなく立坑を利用した避難の可能性が高まります。したがって、沿線の地理や地形を把握しておくことで、適切な避難・誘導によって、命を守る可能性が高まります。

私たちの責務は「旅客を安全に目的地に送り届けること」です。東日本大震災で74人の児童が津波により死亡・行方不明となった石巻市立大川小学校の判決を踏まえると、私たち乗務員も避難・誘導の結果によっては、過失責任が問われることになります。それだけ、私たち乗務員は責務を負っているのです。

日頃からの備えでしか命は守れません。東京電車区分会は、継続して実踏行動を取り組んでいきます！